

パンの話3 パンづくりには欠かせない“ pétrin ”を使った表現法



最近またパン作りにはまってしましまして、毎日生地を捏ねるようになりました。

天然酵母で手作りのパンは最高に美味しいと思いますが、皆さんは召し上がったことがおありでしょうか。天然酵母でのパンは、生地のもっちり感、やや酸味がかった酵母の風味がたまりません。近くに天然酵母のパン屋さんがある方は、ぜひお店をのぞいてみて下さい。

それから自分で酵母を育てるのもとても楽しいです。毎日香りと酵母の勢いを観察して世話していると、愛情が沸いてきます。

“ pétrinの中にいる ” って？

さて、今回は **pétrin** という言葉を紹介したいと思います。

フランス人は良く ” Je suis dans le pétrin ! ” と言いますが、一体どういう意味でしょうか。もちろんパンに関係しています。

pétrir という動詞が「こねる・練る」ですね。pétrin はこねるために使う容器のことです。パン屋さんが pétrin に水、粉、塩と酵母を入れて、両手を入れ込んでこねる作業を想像しましょう。

もみもみ、べとべと・・・それが **pétrin** です！

従って ” Je suis dans le pétrin ! ” は「pétrin に落ちて、べとべとする生地がくっついてしまった

」かのように困っている状態ですね。日本語に訳すと「窮地に立つ」、「ピンチ」ということばになるでしょうか。

être dans un beau pétrin で「窮地に立つ」、Quel pétrin! で「さあ困った！」という意味で用いられます。

他にもこんな表現があります

他には ” C'est un beau pétrin ! ” などもあります。
訳：「**なんという複雑な状態だ！**」（解決しにくい）

皆様、どうぞ、どんどん **pétrin** という言葉を使って見てください！

執筆 Matthieu

上記の日本語はMatthieu先生が書いたものに一部修正を加えたものです。
日本語が堪能なMatthieu先生は、レッスンでも日本語可能です。ぜひ一度お試しください。（スタッフ）

オンラインフランス語学校

ENSEMBLE EN FRANÇAIS

アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

